

重症心身障がい児・医療的ケア児

花色のこども



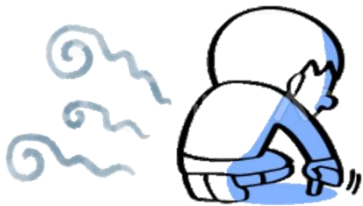
「ぼく達、入院生活がながかったんだ。」



「痛いことをガマンしてきたよ。」
「ともだちと過ごすことが少なかったんだ。」
「医療機器がついていて遊べなかったんだ。」

こ

どもって、友達とあそび、一緒に取り合っ、泣いたり妥協しながら、相手を思いやる事を学びます。関わりの中で喜怒哀楽が表現できるようになり、家族、友達、自分のことも大切にすることを学んでいきます。重症心身障がい児や医療的ケア児は、たくさん[痛い・辛い]体験をして、いつの間にか脳が委縮してしまっていることもあります。でも、色々な快体験や経験を重ねることで脳が育ち、生きやすさや、社会参画につながります。辛いことを、辛いままにしないために、花色は5つの視点でお子さまをサポートします。



「ぼくは、お母さんが決めてくれた事でいいんだ。」

じゃなくって

健康・生活

生活リズムを整えよう
健康状態を維持しよう

やりとりをしよう
ごっこあそびをしよう

社会性 人間関係



たのしいこと！
自分からやりたくなること
“人”と関わっていきこう
「できた！」をみよそう

運動・感覚

自分のからだを知ろう
姿勢を整えるって大事

仲良くなろう
伝える方法をさがそう

言語 コミュニケーション

認知・行動

「お！」って気づこう
色や数を知ろう



「これが好き！ こんな事はイヤ！」

「こんな生活をしたい！」を伝えて

将来、親元から離れた後の自立生活を

生きやすいものに繋げていけるように支援いたします。

